

オバマは何を変えたか？—— “Mosque Debate” に関するテレビ報道をめぐって——

高田 修平

What has Obama changed since His Inauguration? —— A Study of American Society Considered through TV Coverage of the “Mosque Debate”

by
Shuhei TAKADA

(Received October 31, 2010)

Abstract

What has Obama changed since his inauguration almost two years ago? What is happening to American society under Obama’s administration? I have considered the current trend of public opinion by watching TV coverage of the recent mosque debate.

アメリカ政治の「チェンジ」を掲げてワシントンへ乗り込んだオバマの政権が誕生して1年半、厳しい経済情勢の中でなかなか成果が上がらない彼の政策の評価は分かれている。たとえば保守的な論客として知られる古森義久は、「ホワイトハウスのエイリアン」と題するウォストリートジャーナルの記事を紹介し、「米国の米国らしさを認めない」オバマ大統領と一般アメリカ国民の間には明らかに距離があり、その「距離の真実」が最近の世論調査での民主党支持の激減につながっているという¹⁾。一方でオバマ大統領の政策をより好意的に見る冷泉彰彦は、オバマ大統領の誕生自体が「アメリカの多様性を象徴する出来事」ととらえ、医療改革法案を議会で通したことは絶対的貧困の改善につながる画期的な業績と指摘している²⁾。二人の論者の間には、アメリカらしさを多様性に見るか、それとも伝統的価値の継続に見るかという、いわゆる民主党的価値観と共和党的価値観の相違がある。オバマが民主党の大統領である以上、多様性につながる変革をめざすのは彼に課された責務でもあるが、茶会旋風に見られる最近のアメリカ社会の保守化の中で、彼の民主党的政策が孤立する危険も孕ん

でいる。この論文では、彼のそのような苦闘を象徴するひとつの出来事として一連のモスク論争を取り上げ、ABC と CNN のテレビ報道を通してオバマ政権下のアメリカ社会の動向を考えてみたい。

8月中旬から9月末までABC と CNN のホームページに掲載されたモスク論争に関する動画ニュースを論文の研究対象とし、それをダウンロードしてフラッシュメモリに保存して以下の7つの項目に分類した³⁾。

1. Mosque debate
2. Misconception of Obama’s faith
3. Fact check of Imam
4. Islamaphobia
5. Topic of “insensitive” in the debate
6. Topic of “interfaith” in the debate
7. Topic of “integration” in the debate

1～4はニュースの内容に関するテーマを指す。5～7はすべてモスク論争に関するニュースであるが、論争のテーマに応じて3つに分類した。5～7は本来1の分類

に属するが、論争の3つのテーマが発言者の視点の相違を示し、それがモスク建設に関するアメリカ市民の動向を明確に反映していると思われるので、あえて3つの論争テーマに分類した。

まず“insensitive”とは、イスラム過激派の行為を示すグラウンドゼロの近くにイスラムのモスクを建設する

「無神経さ」という意味で、モスクに反対する人々が一般に口にする言葉である。しかし、一般のイスラム教徒と過激派をいっしょに論ずることは、その発言者が多いほどアメリカ社会の不寛容を示すことにもなる。逆に“interfaith”は異教徒間の寛容と相互理解を示し、イスラム教徒のモスクの建設を支持するクリスチャンやユダヤ教徒から発せられる言葉である。したがって、民主党寄りの知識人やモスク建設に理解を示す宗教関係者の発言に“interfaith”という言葉がよく使われる。アメリカ社会は宗教の自由を憲法で保証した国家であり、イスラム教徒が私有地にモスクを建設することは憲法上正当なことであるが、そのような趣旨のオバマ発言(9/17)が多くの国民の輿感を買い、「それが賢い行動であるとは思わない」と大統領が翌日に発言の修正を強いられる程、今のアメリカ社会はかなり内向きになっている。そこには憲法上の理念と文化の隔たり、“constitution”と“culture”の隔たりが見られ、モスク論争の二極化につながっている。

アメリカという移民国家に新たに登場した民族が差別を受けるのは、歴史上よくある現象であり、宗教的にはかつてカトリック教徒やユダヤ教徒がそのような受難を受けた。イスラム教を信仰するアラブ人が今遭遇している差別もやがて解消されるという視点での発言を、“integration”という項目にまとめた。モスク論争は多くのアメリカ人のイスラム教に対する否定的な感情をあおった反面、アメリカの多文化性について考える新たな機会を提供したとも言える。しかし、イスラム過激派のテロ警戒情報がヨーロッパにも飛び火して一般市民のイスラム嫌いをあおり、厳しい経済情勢の下で民主党の中間選挙大苦戦が予想されるなど社会の内向性が進み、アメリカ社会の世論はむしろ二極化している。モスク論争の今後の見通しは予断を許さない。

1.Mosque Debate (ABC)

100815_tw_round1[1]

100816_ann_tl_one[1]

100816_gma_harris[1]

100817_ann_tl_1[1]

100817_ann_tl_2[1]

100819_ann_tl_two[1]

100904_TW_Kenya[1]

100911_abc_protests[1]

100911_gma_families[1]

100912_gma_911[1]

引用した動画ニュースは、ファイル名で表示している。100815_tw_round1[1](9:49)は、その週の話題となったトピックを取り上げる日曜日の討論番組。今回はモスク論争に関するオバマの発言を4人の識者が論じている。モスク建設の権利を61%が支持しながら、実際の建設は64%が不賛成という世論を反映して、識者の見解も二つに分かれる。3人はアメリカの理念に沿った大統領の金曜日の発言を支持し、ひとり世論に沿って建設を再検討すべきと発言する。

100816_ann_tl_one[1](8:00)は、毎日のホットな話題を提供する *Topline* というニュース番組。キャスターのリック・クラインは、オバマ発言がモスク論争をさらに沸騰させ、民主党議員が世論の少数派となった大統領との距離の置き方に苦慮していることを伝える。

100816_gma_harris[1](2:26)は、ジョージ・ステファナポリスがホストの *Good Morning America* というニュース番組。レポーターがグラウンドゼロ近くのモスク建設予定地を視察し、建設計画の中心人物やテロの遺族、共和党議員などの賛否両論を交え、広がるイスラム教への反感や中間選挙への影響を伝える。

100817_ann_tl_1[1](10:29)では、民主党の重鎮ハーリー・リードが共和党のギングリッチやサラ・ペイリンと同様にモスク建設地の移転を求め、オバマ発言に異を唱えたことを *Topline* で報道。

100817_ann_tl_2[1](4:32)と 100819_ann_tl_two[1](4:46)では、*Topline* にゲストで出演した二人のワシントン・ポスト記者が、それぞれオバマ発言の影響とモスク論争の政治的駆け引きについて解説。

100904_TW_Kenya[1](1:21)は、*This Week* というニュース番組で報道した、多くの市民が死傷したナイロビのイスラム過激派による爆弾テロ現場（ケニア版グラウンドゼロ）の近くにあるモスクの話。

100911_abc_protests[1](2:59)は、同時多発テロの記念日にニューヨークの通りで繰り広げられた市民たちの激しいモスク論争を報道。

100911_gma_families[1](4:50)は、テロ被害者の遺族へインタビューし、彼らの今の思いやモスク建設に対する賛否を尋ねる。

100912_gma_911[1](5:07)では、テロ直後のニューヨーク市長を補佐した政治アナリストがゲストで出演し、テロの時はひとつにまとまった世論がモスク論争ではふたつに割れ、センセーショナルリズムに流されて冷静な対応ができない市民の対応を嘆く。

2. Misconception of Obama's faith (ABC)

100819_ann_tl_one[1]

100819_gma_tapper[1]

100820_wn_obama_faith[1]

100819_ann_tl_one[1](10:18)では、*Topline* のニュースが「オバマ大統領が宗教を失う」という見出しを掲げて、彼の信仰を誤解する国民が増え、彼がイスラム教徒だと思ふ人が去年の 11% から 18% に増えたことを伝える。

100819_gma_tapper[1](1:57)では、レポーターがオハイオで遊説するオバマを取材し、週末の発言を悔いてはいないという彼の言葉に反して、彼の信仰を誤解する国民が増えていることを伝える。

誤解の原因に踏み込んだ報道をするのは翌日の

100820_wn_obama_faith[1](2:40)で、彼の異色の出自に基づいて故意にデマを流す共和党サイドの報道に

加え、経済政策への不信が彼と国民の距離を広げ、彼の“otherness”（異質性）を国民に印象付けているとゲストの心理学者が伝える。

3. Fact check of Imam (ABC)

100823_ntl_story_imam[1]

100911_TW_60MINUTES[1]

100911_TW_MOSQUEFUNDIN

100912_tw_rauf[1]

100823_ntl_story_imam[1](4:39)では、夜のニュース番組 *Nightline* がイスラム・センター（グラウンドゼロ近くのモスク）建設の発案者イマム・ファイザル・アブダル・ラウフの実像に迫るため、本人や知人へインタビューして噂される彼とイスラム過激派との関係の疑惑を質す。

This Week はクリスティーナ・アナプアがイマムにインタビューした番組を放送している。100911_TW_60MINUTES[1](2:24)では、同時多発テロでアメリカを非難したとも受け取れる彼の過去の発言やハマースを過激派と断定しないことに関して、アナプアが彼の真意を質す。

100911_TW_MOSQUEFUNDIN(1:31)では、イスラム・センターの資金集めの疑惑を質問されたイマムが、その透明性や異教徒間の融和をめざす建設目的について語る。

100912_tw_rauf[1](10:52)では、論争を鎮めるための建設地移転の可能性を質問され、イマムはアメリカ市民としての信仰の自由を根拠にその提案を拒否すると語る。

4. Islamaphobia (ABC)

100902_nwo_muslim[1]

100906_wn_911[1]

100907_gma_raddatz[1]

100907_ntl_story_koran[1]

100922_gma_muslims[1]

100101_gma_sawyer[1]

100902_nwo_muslim[1](1:54)は、モスク論争を契機に全米に広がる反イスラム感情を抑えるため、CAIR (アメリカとイスラムの友好評議会) によるイスラム教への理解を深めるためのテレビによる広報活動を伝える。

100906_wn_911[1](2:03)では、フロリダの小さな教会の牧師が一連の過激な行動に関してイスラム教徒に警告するため、9月11日にコーランを燃やすと宣言する様子を *World News* が報道。

翌日の 100907_gma_raddatz[1](1:27)では、それに抗議して牧師の顔写真を燃やすカブール市民や現地の反米感情を危惧するペトレياس米軍司令官の声明を *GMA* が報道。

100907_ntl_story_koran[1](8:01)では、*Nightline* でジョーンズ牧師のコーラン焚書予告に対する反響の広がり伝え、ヴァチカン、福音教会、クリントン国務長官、ペトレياس司令官、ジョーンズ牧師の隣の教会牧師の反対の声や、それに対するジョーンズ牧師の反応を報道。

GMA はイスラム教の理解を全米に広めるための特集を組む。100922_gma_muslims[1](4:52)ではインターフェイスの青年部組織を立ち上げたイスラム系アメリカ人が、過激派はイスラムの名に値せず、テロで同様の被害を受けた国内のイスラム教徒を多文化社会アメリカの“us”の一員と認めてほしいと語る。

100101_gma_sawyer[1](5:19)ではレポーターのダイアン・ソーヤがイスラム教に関する著作やイスラムセンターの運営に関わる人々にインタビューし、なぜ一般のイスラム系アメリカ人が過激派との違いを積極的に発言しないのかを尋ねる。

5.Topic of “insensitive” in the debate (ABC)

100816_gma_king[1]

100817_abc_conversation2[1]

100816_gma_king[1](5:40)は、ジョージ・ステファナポリスの司会で、イスラム教徒で初の下院議員エリソンとモスク建設反対の急先鋒である共和党下院議員キングとの論争を放送。キングはグラウンドゼロ近くに高層のモスクを立てる無神経さを非難して移転を求め、エリソンはそのような議論はアメリカ憲法で保証された宗教の自由の権利に対する侵害であると反論する。

100817_abc_conversation2[1](3:51)は9/11 テロで娘を失い、アメリカの自由の原理を守るためあえてモスク建設に賛成する白人女性と、生まれてから数々のイスラム系によるテロや暴力を目撃し、世論の70%の反対を無視してグラウンドゼロ近くにモスク建設を断行することに異を唱えるイスラム系アメリカ人の対話。二つの番組の論争は、いずれも宗教の自由 vs. 世論(constitution vs. culture)を軸に展開されている。

6.Topic of “interfaith” in the debate (ABC)

100818_gma_mix[1]

100912_tw_islam[1]

100818_gma_mix[1](6:24) は、ジョージ・ステファナポリスの司会で今週起きた様々な問題を取り上げて議論するトーク番組。ゲストのトークショーホスト、ルー・ダブスは、オバマ大統領がモスク論争に関する発言を修正して見解をあいまいにしたことを批判し、特定の利害関係者に屈することなく指導力を発揮して、インターフェイス (異宗派間の協調) という幅広く人々が共有できる価値を目指すべきだと主張する。

100912_tw_islam [1] (9:33)では福音主義教会牧師、イスラム系の大学教員とインターフェイスを目指す活動家が討論番組に出演してリベラルな立場から発言し、アメリカ社会の多様性の原理に基づいて各宗派の協力と相互理解を推進することが、イスラム系住民に対する敵意や偏見の解消につながると主張する。

1.Mosque Debate (CNN)

am.carroll.mosque.ground.zero
 am.malveaux.obama.mosque.c
 ac.obama.mosque.debate.cnn
 steinhauser.mosque.polls.cnn
 am.snow.mosque.move.cnn_64
 bts.bloomberg.on.mosque.cnn
 ac.intvislamic.center.funding
 am.ron.paul.mosque.cnn_640x
 candiotti.islamic.center.rallies
 chernoff.islamic.political.back
 ac.kaye.mosque.timeline.cnn
 nr.khalifa.ramadan.cnn_640x3
 nr.muslim.mom.911.cnn_640x3

CNN は動画ニュースのファイル名に日付がないため、それぞれのファイル名の後に視聴した日付と放送時間を添える。

am.carroll.mosque.ground.zero (8/05, 2:38)はレポーターの現地報告に基づいたニュース。彼の報告は、モスク建設予定地の取材、地区の歴史的建造物保存委員会のモスク建設を容認する裁定に対する市民の様々な反応の取材を経て、ニューヨーク市長の建設支持表明の演説で終わる。

am.malveaux.obama.mosque.c (8/17, 4:28)はホワイトハウス常駐のCNN 特派員報告。彼女はオバマ大統領がラマダンを祝うディナーの席でモスク論争に始めて言及し、翌日に世論の反対を受けてその発言を修正し、全国的な政治問題化した経緯を報告する。

ac.obama.mosque.debate.cnn(8/18, 3:34)はオバマ発言に関する討論。CNN 常連の民主党顧問ジェームズ・カーヴィルは、それは政治的に有利ではないが大統領にふさわしい発言とコメント。

steinhauser.mosque.polls.cnn (8/18, 0:53)はCNN オピニオンリサーチの調査結果に関する恒例のスタインハウザーの報告。モスク建設に賛成は29%、反対は68%で、無党派や共和党支持者、高齢者の間で反対する数が多い。

am.snow.mosque.move.cnn_64(8/19, 3:15)は、モ

スク論争のその後の展開に関してキャスターのスノーが報告。ニューヨーク州知事がモスク建設に賛成の立場であるがグラウンドゼロから離れた代替地の提供を提案。しかし建設の立案者はニューヨーク市長の支持演説をバックに、賛成の気配を見せない。

bts.bloomberg.on.mosque.cnn(8/19, 3:02)は、ニューヨーク市長ブルームバーグの記者会見の報道。彼は憲法修正第一条に則って宗教の自由を全面的に支持すると表明し、それが多様性を誇るアメリカの精神であると強調する。

ac.intvislamic.center.Funding (8/20, 4:49)は、9/11 テロで家族を失った二人のイスラム系アメリカ人女性へのインタビュー。ひとりには建設予定のモスクと過激派をリンクさせるつもりはないが、辛い記憶が残る場所の近くにモスクを立てることに反対し、ひとりにはイスラム系住民をスケープゴートにしないためにも文化的寛容を要望し、モスクの建設に支持を表明する。

am.ron.paul.mosque.cnn_640x(8/25, 7:54)は、共和党元上院議員ロン・ポールへのインタビュー。彼はモスク論争から生まれたイスラム教徒全体への憎しみ(“islamaphobia”)の広がりには反対し、モスク建設立案者のインターフェイスに基づいた海外での宗教活動を評価し、イマムをヒトラーに例えた元同僚ギングリッチの発言をやりすぎではないかと非難する。

candiotti.islamic.center.rallies(8/25, 2:22)は、ニューヨーク街頭でモスク建設に賛否を表明するデモのレポート。労働組合員はモスク建設に従事することを拒否し、アフガニスタン帰りの元兵士はアメリカの大義に基づいてモスク建設を支持する。

chernoff.islamic.political.back(8/31,2:48)は、9/11 テロの兄弟を失った白人男性へのインタビュー。彼はモスク論争が政治的に利用され、サラ・ペイリンやハリー・リードなど多くの政治家が遺族の心情に言及してモスク建設に反対していることを非難する。

.kaye.mosque.timeline.cnn (9/09, 2:37)は、モスクの建設計画が公表されて以来、女性ブロガーの“Islamic domination”という指摘で5月に急に新聞やテレビの注目を浴び、サラ・ペイリンやオバマの発言を経て大論争

に発展した経緯を追いかける。

nr.khalifa.ramadan.cnn_640x3(9/12, 4:58)は、アトラントでイスラム文化の普及をめざして活動する女性指導者にインタビュー。今年はラマダン月の最後がちょうど9月11日となるので、モスク論争のイスラム教の祭日への影響を尋ねられ、彼女は祝いを自粛するのではなく、その日を他の宗教者とともにテロ犠牲者の追悼に充てて、インターフェイスの発展をめざしたいと語る。

nr.muslim.mom.911.cnn_640x3(9/12, 6:40)は、9/11テロの犠牲となったイスラム系アメリカ人の母親へのインタビュー。彼女の息子は献身的な救助活動中にビルの崩壊で亡くなり、遺体が特定できないため謂れのない嫌疑をかけられる。その半年後彼の死が確認されて嫌疑は晴れるが、その間に警察の呼び出しやヘイト・メールを受け取るなどのトラウマチックな体験をした彼女は、アメリカの理念を守るためにもモスク建設に支持を表明する。

2.Misconception of Obama's faith (CNN)

ac.obama.president.religion.cn

tsr.obama.muslim.problem.cnn

ac.obama.president.religion.cn(8/21, 5:41)は、オバマ大統領がイスラム教徒だと思ふ人が国民の1/4に上る現実に関する討論。大統領のスピリチュアル・アドバイザーは、彼がキリスト教の礼拝を公然としないことが一因と考え、パキスタン生まれの大学教授アフメドは、官邸サイドの度重なる説明に関わらずオバマをイスラム教にリンクさせる人が多いのは、無知がオバマへの不信とイスラム教への恐れを助長させ、建国の父が説いた寛容の精神を今のアメリカ人は忘れていると述べる。

tsr.obama.muslim.problem.cnn(8/21, 6:22)は、同じテーマを民主党顧問カーヴィルと共和党顧問ブランクリーが討論する。カーヴィルはオバマに関してこれ程間違ったうわさが氾濫するのは大衆に分別がないからと発言し、ブランクリーはオバマがアメリカ紙幣に印刷された歴代の大統領と異なる出自を持つことも一因と述べ

る。

3.Fact check of Imam (CNN)

ac.kaye.mosque.money.cnn_64

ac.imman.travels.cnn_640x360

am.feyerick.imam.close.up.cnn

ac.foreman.imam.fact.check.c

lkl.imam.feisal.abdul.rauf.cnn

lkl.trump.mosque.beeper.cnn_6

ac.kaye.mosque.money.cnn_64(8/20, 3:31)は1億ドルと推定されるモスクの建設費用に関するレポート。イマムの資金集めに関する「好ましくない関係」を明らかにするため、ニューヨーク州選出の共和党下院議員ピーター・キングは彼を調査すべきと強硬に主張するが、イマムの妻の証言によれば資金集めはまだ開始されず、イマムの好ましくない関係も報告されていない。

ac.imman.travels.cnn_640x360(3:47)は、イマムの中東歴訪に関するレポート。ブッシュ前政権時代から4度、彼は国務省の依頼で中東を訪ねているが、それがモスク建設の資金集めに絡んだ旅行ではないかという疑惑もある。しかし、国務省サイドはそれは規定で禁止され、彼は専らアメリカと中東諸国の橋渡しとして貢献してきたと言う。

am.feyerick.imam.close.up.cnn(3:16)は、イマムの生い立ちと評判に関するレポート。彼は全米で吹き荒れるモスク論争の「台風目」となっているが、クウェイト生まれのスーニ派イスラム教徒で、28年前に9/11テロが起きた場所の近くにモスクを開き、それ以降イスラム文化の普及やインターフェイスのために貢献してきた経緯が報道される。

ac.foreman.imam.fact.check.c(2:32)は、イマムに絡む過去の疑惑に関するレポート。彼は9/11テロ直後にアメリカにも非があると発言し、アメリカの外交政策に苦言を呈したこともある。モスク建設の彼のパートナーは過去に暴力沙汰で逮捕され、彼の父とイスラム過激派とのつながりも指摘されている。

lkl.imam.feisal.abdul.rauf.cnn(11:55)はイマムとの直接インタビューによって、資金集めやモスク建設予定地の変更など、視聴者が興味ある話題に関して彼の真意を聞いている。彼は28年間住む地域住民のためにイスラム文化センター（モスク）建設を志し、資金集めはそれに賛同する人々から合法的に透明性を維持して行なうと発言。また、用地の移転はイスラム教徒がアメリカで迫害されているという過激派の主張を裏付けることになり、国の安全に関わる問題なので慎重に対応すると述べる。

lkl.trump.mosque.beeper.cnn_6(4:30)では、ラリー・キングショウに出演したマンハッタン地区の大物実業家が、イマムが今の敷地にモスク建設を企むのは土地売買のもうけをねらった不動産ビジネスではないかという裏話を明かす。

4.Islamaphobia (CNN)

am.int.ghosh.islamaphobic.cnn
int.islamic.ctr.controversy.cnn
ricks.fire.at.planned.mosque.si
ac.mosque.burning.guests.cnn
am.feyerick.islamophobia.cnn
am.quran.burning.interview.cn
chernoff.ground.zero.mosque.c
ac.tennessee.mosque.battle.c

am.int.ghosh.islamaphobic.cnn (8/20, 4:12)は、アラブ系のタイム誌編集者がモスク論争を契機に広がる「イスラム恐怖症」(“islamaphobia”)を解説。彼はモスク論争の広がりとともに、ギングリッチ共和党上院議員のイスラムをナチに例える発言に見られるように、悪意に満ちたヘイト・スピーチが広がって、イスラム系住民について根拠のない恐怖をあおっていると述べる。

int.islamic.ctr.controversy.cnn (8/23, 5:55)は、フレスノのイスラム文化センター所長がインタビューを受け、毎年9/11の前日にテロ犠牲者を哀悼するために開くカーニヴァルが、地元のラジオ局から流される過激な反イ

スラムキャンペーンなどにより中止に追い込まれた経緯を説明する。

ricks.fire.at.planned.mosque.si (8/31, 4:35) は、ヒスパニック系のリック・サンチェスがキャスターを勤めるニュース番組。テネシー州マーフリースボロという静かな町で新築中のモスクが放火され、リックが計画責任者に当時の状況を尋ねる。

ac.mosque.burning.guests.cnn (9/2, 4:31)では、放火されたモスクの役員のひとりがホームページに過激なメッセージを載せていたことに関して、キャスターのアンダーソン・クーパーが彼を告発する地域住民とそれに反論するモスクのスポークスマンに話を聞く。

am.feyerick.islamophobia.cnn (9/3, 4:31)は、イスラム恐怖症の広がりレポート。抗議のデモが押し寄せるモスクは、ニューヨークだけではなく全米各地に広がっている。インタビューされた一般のイスラム教徒は、保守的アメリカ人の反イスラムの言動が彼らを追い詰め、憎しみの増幅がアメリカ社会の安全を脅かすことを危惧する。

am.quran.burning.interview.cn (9/8, 8:27)は、イスラム教徒の過激なグループに警告するためにコーランを燃やすと宣言したフロリダのジョーンズ牧師へのインタビュー。

chernoff.ground.zero.mosque.c (9/9, 3:01)は、過去に共和党寄りの反イスラム広告を手がけ、今はグラウンドゼロ近くのモスク建設中止をネットで市民に呼びかける男にインタビュー。

ac.tennessee.mosque.battle.c (9/29, 7:42)は、テネシー州マーフリースボロのモスク放火事件の続報。モスク建設の差し止めを求める訴訟を起こした「安全保障政策センター」の代表は、イマムを含むモスク役員がイスラム法に基づいた反政府活動を企んでいると指摘。パキスタン生まれの大学教授アフメドは、人口で2%足らずのイスラム教徒が残りの98%に反抗することは数字的にもありえないと反論する。

5.Topic of “insensitive” in the debate (CNN)

am.fox.adl.nyc.mosque.cnn_64
ricks.fmr.gov.pataki.mosque.c
tsr.cafferty.ground.zero.mosqu
gps.mosque.debate.cnn_640x3
nr.muslim.panel.imam.feisal.cn
ricks.carl.paladino.religion.cnn

am.fox.adl.nyc.mosque.cnn_64 (8/5, 7:01)では、ユダヤ人文化教育に関わる「名誉毀損防止組合」(ADL) 会長がインタビューを受け、9/11 テロの犠牲者や遺族の心情(“sensitivity”)に配慮して、イマムがグラウンドゼロ近くのモスク建設を再考するように要望する。

ricks.fmr.gov.pataki.mosque.c (8/12, 5:58)では、前ニューヨーク州知事がインタビューを受け、9/11 テロの犠牲者を追悼するために保存すべき聖域に配慮せず(“insensitive”)、資金源も不明な巨大な施設を建てることに抗議する。

tsr.cafferty.ground.zero.mosq(8/20, 2:09)は、ホットな時事問題を取り上げて視聴者の投稿を求める「カタフィー・ファイル」。ジャック・カタフィーがモスク論争を取り上げ、無神経(“insensitive”)で侮辱的なモスク建設を計画し、州知事の用地移転の提案にも耳をかさない彼らの真の理由は何だと思うかと、強い口調で話す。

gps.mosque.debate.cnn_640x3 (8/23, 7:36)では、二人のジャーナリストがインド系のファリード・ザカリアがホストを務める *GPS* に招かれ、モスク論争の知的な考察を試みる。ウォールストリート・ジャーナルの記者は、9/11 テロという“sensitive”な問題が絡むモスク建設を世論の反対を無視して強行しても、イマムのめざす“interfaith”の状況は生まれないと説き、タイム編集者は建設の権利を認めてもそれを建てさせないのはダブル・スタンダードで、宗教の自由は実践できないと反論する。ふたりの議論は噛み合わないが、冷静に憲法と文化のぎりぎりの境界線を探っている。

nr.muslim.panel.imam.feisal. cn (9/14, 9:24)では、3人のイスラム系知識人がモスク論争に関して討論する。一人はモスクの建設用地の変更が過激派のアメリカ批判をあおるというイマムの主張を支持し、一人は宗教の

自由を实践するには“insensitive”という言葉に隠されたイスラム教徒への差別と闘わなければならないと述べる。

ricks.carl.paladino.religion.cnn (9/16, 7:22)では、モスク建設の差し止めを公約してニューヨーク州知事選の共和党候補に選ばれたカール・パラディノが、*Rick's List* に出演。パラディノが公約したのは、グラウンドゼロ周辺を特別地域に指定して、その地域の建造物は所轄の委員会が許認可を与えるというもの。リック・サンチェスが指摘するように、特別地域の法制化は所轄の委員会の「受け止め方」(“sensitivity”)を優先して憲法修正第1条の宗教の自由を損なう危険性を持っている。

6.Topic of “interfaith” in the debate (CNN)

ricks.waskow.mosque.cnn_640
ac.nyc.mosque.cnn_640x360
ac.roland.martin.gergen.imam
am.minister.against.quran.bur

ricks.waskow.mosque.cnn_640 (8/4, 3:39)では、イマムと宗派を超えた協力(“interfaith”)を実践してきたユダヤ教のラビがインタビューを受け、イマムのモスク建設計画を擁護する。

ac.nyc.mosque.cnn_640x360 (9/9, 7:47)は、9/11 を体験した地元の建設業者と知識人が混ざって“interfaith”とは何かを議論し、一人は過激な言動が飛び交う今こそ穏健な対応が必要なので、イマムが真に穏健な人物であれば妥協を恐れずに対立グループと交渉すべきと述べる。

ac.roland.martin.gergen.imam (9/14, 4:16)は、二人の政治アナリストが真の“interfaith”とは何かを議論する。一人はイマムが真に“interfaith”をめざすのであれば、他の宗教に開かれた施設を作るべきと述べ、一人はそれは宗派間の協調ではなく他の宗教に対する干渉であると反論する。

am.minister.against.quran.bur (9/14, 5:40)は、フロリダ州ゲインズビルの牧師がインタビューを受け、ユダ

ヤ教会やイスラム教会と協力してジョーンズ牧師にコーランの焚書を思いとどまるように働きかけている様子を語る。

7. Topic of “Integration” in the debate (CNN)

am.moderate.muslim.reax.cnn

jkusa.fareed.zakaria.int.cnn_64

lustout.muslim.america.scham

sot.imam.parker.spitzer.react

am.moderate.muslim.reax.cnn (9/14, 6:18)は、イマム発言の是非に関する二人のイスラム系アメリカ人の討論。「インターフェイス・ユース・コア」の代表を務める女性活動家は、イスラム系のアメリカ社会への統合を推進する立場からイマム発言を支持し、大学教授のアフメドは70%の世論の反対を無視してモスクを建設することはいたずらに社会の対立を招くので、“cultural context”を考慮してイマム発言に反対すると述べる。

jkusa.fareed.zakaria.int.cnn_64 (9/14, 4:18)では、ファリード・ザカリアがテロ対策の問題点として、政府があまりに軍事的対応に集中して世論も二極化している点をあげ、アメリカ社会の穏健なイスラム教徒と対話を進めることが問題の解決につながると述べる。

lustout.muslim.america.scham (9/14, 4:31)では、コロンビア大学教授が不穏なアメリカ社会の現状を解説。彼は、経済的苦境の不満がイスラム教徒への差別に向かい一種のマッカーシー旋風が起きているが、かつてのカトリックやユダヤ教徒への差別と同様に、多民族国家アメリカに周期的に起こる現象であると分析。

sot.imam.parker.spitzer.react (9/14, 5:09)は、ニュース番組のホストを務めるパーカーとスピッツァーが、アンダーソン・クーパーのモスク論争に関する質問に答える。パーカーはイマムの人格を評価し、彼を“us”の一員と認めて冷静な対話を進めることが重要と述べ、スピッツァーは感情的な対立を簡単に解消することは難しいが、双方の“tolerance”が重要と述べる。

オバマ政権下で、アメリカ社会はどのように変化した

か。彼は合衆国史上初の黒人大統領となったが、世論の二極化の中で彼の政権運営はますます多難をきわめているように見える。

多民族社会アメリカは建国以来多くの民族を受け入れながら、それぞれの民族が統合される過程は、けっして平坦なものではなかった。今イスラム系アメリカ人が受けている試練は、歴史的に見れば以前アメリカへ到達した多くの民族がたどった道を繰り返しているのかもしれない。しかしイスラム系にとって不運なのは、イスラム系の過激派がアメリカをターゲットにしたテロへの不安と長引く不況の中で、多くのアメリカ人が寛容の精神を忘れて内向きになっていることである。“insensitive”とは、そのような状況で鬱積した感情をモスク論争に対して浴びせた言葉と解釈される。nr.muslim.panel.imam.feisal.cn (9/14, 9:24)の中でイスラム系の知識人が指摘するように、それはイスラム系のアメリカ社会への統合を阻む差別の言葉でしかない。しかし宗教の自由の理念を掲げて正面からそれに対決して、アメリカ社会の二極性をさらに深刻化させるだけにすぎない。

宗教の自由という憲法上の理念に背を向けて内向きで不寛容なアメリカ社会の中で、憲法と文化の乖離を打開するために必要なものは、Topic of “integration”の中に示されたような冷静で辛抱強い相互理解の試みである。さらに穏健なイスラム教徒の発言権を強め、アメリカ社会とイスラム教徒の対決ではなく、イスラム系を含めたアメリカ社会とイスラム過激派の対決に変える必要がある。そのような姿勢は、gps.mosque.debate.cnn_640x3 (8/23, 7:36)の二人のジャーナリストの対話や、am.moderate.muslim.reax.cnn (9/14, 6:18)のイスラム系大学教授アフメドの冷静な対応に見られる。

ABCとCNNのテレビ報道を通してモスク論争に関するアメリカ市民の動向を考えるという今回の試みは、けっして“exhaustive”な調査方法ではないが、少なくともアメリカ社会の動向をある程度示していると思われる。モスク論争というテーマ上、取り上げたニュースの多くがディベートの形式を取り、それは書かれた言葉よりも話された言葉を通して理解されやすい性質を持っている。私がテレビニュースという題材に着目した所以

である。

注

1) 古森義久「オバマはホワイトハウスの異星人なのか」

Japan Business Press 2010/08/16 掲載。URL :

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/print/4031>

2) 「フロム・ザ・ニュースルーム」編集長対談・冷泉

彰彦氏 その1 「異議あり！『貧困国アメリカ』」ニュ

ーズウィーク日本版、2010/07/29 掲載。URL :

<http://www.newsweekjapan.jp/newsroom/2010.07>

[post-130.php](http://www.newsweekjapan.jp/newsroom/2010.07)

3) ABC ニュースと CNN ニュースの URL は以下のと

おり。ABC : <http://abcnews.go.com/> CNN : <http://>

edition.cnn.com/US/